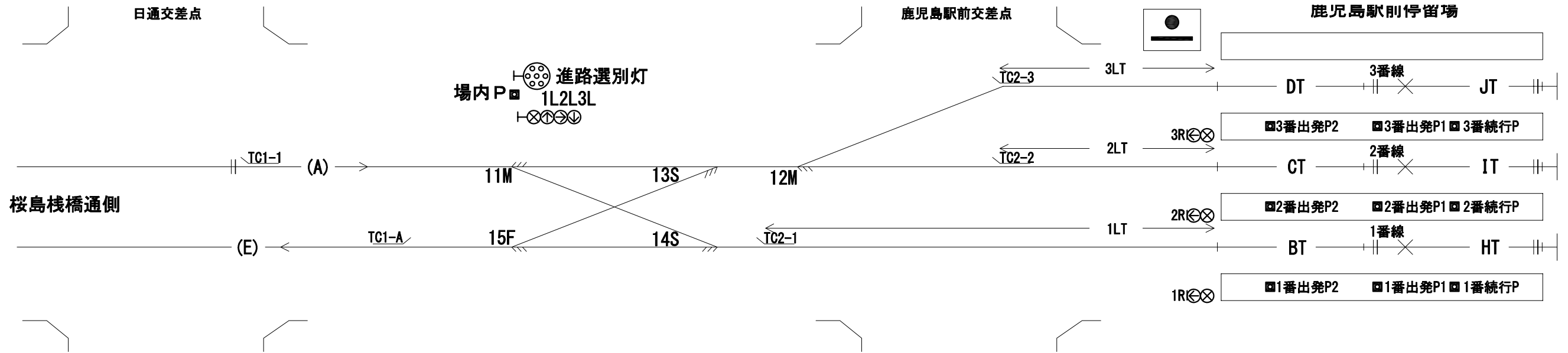


# 鹿児島駅前連動図表



第3種 経電連動装置

名称	番号	鎖錠欄	信号制御又はつ查鎖錠欄	進路鎖錠欄	接近又は保留鎖錠欄	自動制御条件	自動進路復位条件
軌道信号機	A-TC2-1	1L	① 1R 2R 3R			TC1-1 <sup>⊙</sup> 又は 場内P(1L)但し 1LT 且つ BT 且つ (HT 又は ①番続行P)	当該進路進行によりTC2-1車両検知又は場内P(1L, 2L, 3L取消)を押す。
	A-TC2-2	2L	11 12 2R			TC1-1 <sup>⊙</sup> 又は 場内P(2L)但し 2LT 且つ CT 且つ (IT 又は ②番続行P)	当該進路進行によりTC2-2車両検知又は場内P(1L, 2L, 3L取消)を押す。
	A-TC2-3	3L	11 ② 3R			TC1-1 <sup>⊙</sup> 又は 場内P(3L)但し 3LT 且つ DT 且つ (JT 又は ③番続行P)	当該進路進行によりTC2-3車両検知又は場内P(1L, 2L, 3L取消)を押す。
1番線 - E	1R		1L 2R 3R			①番出発P1 且つ (BT 又は HT) 又は ①番出発P2 且つ (BT 又は HT)	当該進路進行によりTC1-A車両検知又は1番出発P1(取消)又は1番出発P2(取消)を押す。
	2R		1L 2L 1R			②番出発P1 且つ (CT 又は IT) 又は ②番出発P2 且つ (CT 又は IT)	当該進路進行によりTC1-A車両検知又は2番出発P1(取消)又は2番出発P2(取消)を押す。
	3R	②	1L 3L 1R			③番出発P1 且つ (DT 又は JT) 又は ③番出発P2 且つ (DT 又は JT)	当該進路進行によりTC1-A車両検知又は3番出発P1(取消)又は3番出発P2(取消)を押す。
転てつ機	電気式	11M					
		12M					
	発条式	13S					
		14S					
	フリー	15F					
自動手動切替てこ	手動	7	N				
	自動	R	1L 2L 3L 1R 2R 3R				

凡例

- トローリーコンタクタ
- 進路選別灯
- 現場操作箱
- 軌道信号機
- 停止線

備考

- 軌道信号機 1L, 2L, 3L, 1R, 2R, 3R について、運用上不都合が無い時、進行としても良いことを運転手に示すために設置する。
- 軌道信号機 1L, 2L, 3L, 1R, 2R, 3R について、内方進入は当該軌道信号機手前で運転手が一度停止を行い、進行現示の他、当該進路を支障する車両が在線していないことを確認した上で行う。進路復位は局員が、十分注意した上で行き、第3者による操作は無いように設置する。  
そのため、信号制御又はつ查鎖錠、進路鎖錠、接近又は保留鎖錠の機能は当該軌道信号機に含まないこととする。
- 連動図中、+ BT ← 1LT <sup>TC1-1</sup> は、鹿児島駅前停留場進入時、TC1-1 で車両検知され 1L 進路開通してから、BT により車両検知されるまでの間に車両が在線しているとき、1LT に在線していることを示す。
- 連動図中、+ CT ← 2LT <sup>TC1-1</sup> は、鹿児島駅前停留場進入時、TC1-1 で車両検知され 2L 進路開通してから、CT により車両検知されるまでの間に車両が在線しているとき、2LT に在線していることを示す。
- 連動図中、+ DT ← 3LT <sup>TC1-1</sup> は、鹿児島駅前停留場進入時、TC1-1 で車両検知され 3L 進路開通してから、DT により車両検知されるまでの間に車両が在線しているとき、3LT に在線していることを示す。
- 直曲灯はそれぞれの進路毎に 10 秒間点灯、移行時は 2 秒間消灯します。尚この状態を進路設定迄続ける。
- 1番出発 P1 と 1番出発 P2 には 1R の進路設定用の釦(1R)のほかに進路取消用の釦(取消)も設ける。2番出発 P1、2番出発 P2、3番出発 P1、3番出発 P2 も同様。
- 自動制御条件欄の ①番出発 P1 又は ①番出発 P2 は釦(1R)が押下されてから、自動進路復位条件が成立するまで、の間反位となる条件を示す。②番出発 P1 又は ②番出発 P2、③番出発 P1 又は ③番出発 P2 も同様。
- 1番続行 P には、続行車両進入許可釦のほかに続行車両進入許可取消釦を設ける。2番続行 P、3番続行 P も同様。
- 自動制御条件欄の ①番続行 P は続行車両進入許可釦が押下されてから、続行車両進入取消釦が押下されるまで反位となる条件を示す。②番続行 P、③番続行 P も同様。
- 場内 P には、1L, 2L, 3L の進路設定用の釦(1L)、(2L)、(3L)のほかに 1L, 2L, 3L 共通の進路取消用の釦(1L, 2L, 3L 取消)も設ける。
- 自動制御条件欄の 場内 P (1L) は釦(1L)が押下されてから、自動進路復位条件が成立するまで、の間反位となる条件を示す。場内 P (2L)、場内 P (3L) も同様。
- 自動手動切替てこが反位の時、該当軌道信号機は自動制御条件及び、自動進路復位条件により制御される。
- 自動制御条件欄の TC1-1<sup>⊙</sup> は、直曲灯が<sup>⊙</sup>。点灯中 TC1-1 が車両を検知されてから、自動進路復位条件が成立するまで、の間反位となる条件を示す。TC1-1<sup>⊙</sup>、TC1-1<sup>⊙</sup> も同様
- 自動制御条件欄の 場内 P (1L) 但し 1LT 且つ BT 且つ (HT 又は ①番続行 P) は(場内 P (1L))により、当該進路が自動制御されることを示す。但し HT 若しくは ①番続行 P のいずれかが成立 且つ 1LT 且つ BT の場合に行う。場内 P (2L) 但し 2LT 且つ CT 且つ (IT 又は ②番続行 P)、場内 P (3L) 但し 3LT 且つ DT 且つ (JT 又は ③番続行 P)も同様。

工 事 名	
事 業 名	鹿児島駅前停留場整備事業
工事箇所	鹿児島市 浜町
図面種類	鹿児島駅前連動図表
図面番号	全 の 作製 H31年 1月
鹿児島市 交通局	